

レベルアップ講習会 ～交通安全教室～

平成27年9月30日(水)



亀岡警察署交通指導員
下尾 雅子 さん と
志村 けんた 君

ファミリー・サポート・センターの援助活動では、まかせて会員さんの車での送迎をお願いするサポートがたくさんあります。全国的にも、子どもを巻き込むという思わぬ悲しい事故が多発しています。大切な子どもたちを守るためには、普段からどこをどのように注意すればよいかなど、事故の実例を聞きながら教えていただきました。



走ってる車から子どもを守るには、大人が常に車側になるようにする。

近づいてくる車から、子どもを守る場合の、体の使い方を教えてくださいました。

子どもが1人の時は、親が腕を持つ。

子どもが2人の時も、それぞれの手首を持ち、縦にならんで歩かせてください。

子どもが3人の時は、一番上の子どもに親の服などをしっかりつかませて、あとの2人はそれぞれの手首をつかみ、縦にならんで歩かせてください。

繋いでいる子どもの手が、スーッと離れてしまわないための手のつなぎ方も教えてくださいました。

参加者(まかせて会員さん)の感想

* 交通事故の怖さを、改めて感じました。ちよっとした注意で防げることも改めてわかりました。

* 腹話術とてもユーモラスで楽しかったです。具体的な事故例で解り易く改めて気を付けようと思いました。いつもかなり横着しています。

* 孫も大きくなりましたが、気を付けなければいけないことがあり、とても参考になりました。

* 以前、小学生のお迎えの活動で車を使いましたが、家に着くまでドキドキしました。車使用には注意しなければと思いました。

* 小学3年生の孫がいますが、一緒に歩くときは常に気を付けたいと思いました。勉強になりました。

* 車に関する事故は、本当に悲しい事故が多いと改めて思いました。3件の事故とも、私たちがついやってしまっことで本当にいつも注意していかなければいけないと痛感しました。

* いろいろ大切なポイントを教えていただきありがとうございました。